



ボンボン蒸気船作りに挑む児童 福島民友 2014/9/11

理科の楽しさ紹介

南相馬 鹿島小で「出前教室」

東京工大の卒業生

東京工大の卒業生らは8、9の両日、南相馬市鹿島区の鹿島小で「蔵前理科教室不思議ふしぎ（くらりか）」を開き、児童らに理科の楽しさを教えた。

9日は、4年生が紙ホイッスルやストローを使って小さなトロンボーンのような手作りの楽器を作り、音の出る仕組みなどについて学んだ。

6年生は牛乳パックを使って「ボンボン蒸気船」を製作、水蒸気について理解を深めた。

アルキメデスの原理 理解

東工大OB理科教室
南相馬の鹿島小
福島民友 2014/9/11



子どもたちに「浮力」の仕組みを教えた雨谷副代表

東工大OBで組織する「蔵前理科教室ふしぎ不思議」のメンバーは八日、南相馬市鹿島

区の鹿島小で理科の出前授業を行った。

南相馬こどものつばさの仲介で実現した。

子どもたちの理科への関心を高めるのが狙い。五年生約五十人が参加した。同団体の雨谷俊彦副代表ら四人が講師を務めた。

子どもたちは水の入ったペットボトルにストローとクリップで作ったストロー浮遊子を入れて、「浮力」と浮き沈みに関するアルキメデスの原理を学んだ。

九日は原町区の石神二小でも出前授業を行った。